

令和2年1月31日（金）

愛知県公立大学法人 愛知県立大学

担当：戦略企画・広報室 吉田

電話：0561-76-8636

E-mail:kouhou@puc.aichi-pu.ac.jp

## 愛知県立大学と大府市歴史民俗資料館が協力し、講演会

だいはんにゃきょう

### 「大般若経と中世の大府-延命寺と地域社会-」を開催！

愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科の教員と学生による、大府市指定文化財である延命寺所蔵の大般若経 600 巻の調査成果の報告を、大府市歴史民俗資料館において、下記のとおり行います。

この文化財調査は、大府市歴史民俗資料館の協力により、2018 年度から実施してきました。悉皆調査（しっかいちょうさ）という学術手法で、膨大な中世文献を精査したものです。調査員は、愛知県立大学中世史研究会（学部生と大学院生）を主とし、顧問上川通夫（同大学日本文化学部教授）が加わったものです。また、2018 年度・2019 年度に愛知県立大学学生自主企画研究として実施してきました。

天台宗の古刹（こさつ）である延命寺には、数多くの文化財が寺宝として伝えられており、大般若経はその一部です。インド思想が7世紀に三蔵法師玄奘（げんじょう）によって漢文に翻訳され、日本でも数多く書写されました。延命寺の大般若経は室町時代文安2年(1445)～同4年頃に地元の人々に支えられて筆写されたものです。本文以外の書き込みに見る「智多郡横根郷」などの地元情報、多数の筆跡に見る中世人の息吹、信仰に結集した生活者の心性、今に続く仏事で用いられてきた文化伝承の姿、といったことを読み取りました。

生活者の目線で、将来を見据える大学生が、愛知文化の価値を見出すべく取り組みました。貴社にてお取上げいただきますとともに、御取材くださるようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日 時 令和2年3月14日（土） 13時30分から15時まで
- 2 会 場 大府市歴史民俗資料館（愛知県大府市桃山町5丁目180-1 電話0562-48-1809）
- 3 対 象 一般の方
- 4 参加費 無料 80人（先着順）  
（申し込み：2月4日（火）から 直接または電話にて大府市歴史民俗資料館へ）

5 講 師 愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授 上川 通夫(かみかわ みちお)  
愛知県立大学学生 (調査担当者)

6 内 容 「大般若経と中世の大府—延命寺と地域社会— 調査による歴史の発見」

【※延命寺所蔵大般若経の重要性】

大般若経はユーラシア中央部で 1 世紀頃から形成された、**大乘仏教の代表的な経典**です。7 世紀に玄奘三蔵によって中国にもたらされて漢訳され、8 世紀以後の日本では繰り返し書写されました。特に中世では列島各地で写経事業が展開し、村落生活に密着した寺院を中心に、新しい地域づくりの象徴として重視されました。

15 世紀に書写された延命寺所蔵大般若経は、まさに**地域づくりの力強さを証明**しています。しかも 600 巻すべてが残されているだけでなく、現在も大般若会で活用されるなど、生きた文化財としてはなほ重要な存在です。これまでも、『大府市誌』『愛知県史』で取り上げられてきましたが、このたび延命寺様のご理解とご協力のもと、愛知県立大学中世史研究会によって詳細な調査をさせていただいた結果、これまで知られていなかった細部の歴史が浮かび上がってきました。**尾張や三河との結節点にある大府の位置、延命寺や藤井神社に集った地元の住民、写経の筆づかいから感じ取られる中世人の思い、そういったことが身近に実感**されます。600 巻の大般若経を作りだし、毎年の行事に集った先人たちのエネルギーは計り知れないほど大きいものです。

今回の調査成果は、まずは地元大府でこそ共有されるべきであると考えます。今後、この成果は、はるかなるアジア史を過去に背負いつつ、大府を発信源にして、世界宗教に関する歴史文献にふさわしい広さをもって活用されることが期待されます。

【同時開催の企画展示について】

場 所 大府市歴史民俗資料館展示室

展示期間 2020 年 3 月 14 日 (土) から 4 月 26 日 (日)

(3 月 14 日には講演会後に調査員による展示解説を行います。)

※開館時間：9 時から 18 時まで (展示室への入館は 17 時 30 分まで)

※月曜日、祝日、毎月最終金曜日は閉館

展示内容 大般若経 (15 世紀) 600 巻のうちの代表的なもの  
般若十六善神図 (室町時代)  
その他、大般若経箱、写真パネルなど

(参考)

学生自主企画研究：

学生の自主性、創造性を刺激することにより、勉学意欲の向上を図るため、学生自主企画による研究プロジェクトを公募し、採択されたものに対して、研究資金を助成する企画。今年度は 12 件のプロジェクトが採択。